

理系の パラグラフライティング

レポートから英語論文まで論理的な文章作成の必須技術

目次

はじめに	003
パラグラフライティングとは？	003
著者について	005
本書の構成	006

1章 アカデミックライティングと パラグラフライティング

1-1 アカデミックライティングとは？	014
1. 見出した普遍的な真理や法則を論理的に述べることを最終目的としている	
2. 「型」がある	
3. 「技術」が必要で、この技術を習得するためには教育と練習が必要	
1-2 パラグラフライティングとは？	020
1-3 IMRAD 形式とパラグラフライティングとの関係は？	022

2章 パラグラフライティングの 基礎

2-1 パラグラフとは？	028
パラグラフのレイアウト	029
One topic, one paragraphルール	031
パラグラフの要素	033

2-2 トピックセンテンス 034

トピックセンテンスを書く時に起こりがちな問題 038

1. コントローリングアイデアが存在しない
2. トピックが存在しない
3. 不要な情報が含まれている
4. 抽象性を欠いている
5. 独立性を欠いている

2-2 ドリル 046

2-2 ドリル 解答と解説 048

2-3 サポート 056

サポートの機能 058

1. トピックセンテンスを詳細に説明する
2. トピックセンテンスの例を挙げる
3. トピックセンテンスの理由・根拠を述べる

サポートを書く時に起こりがちな問題 061

1. トピックセンテンスに含まれている内容すべての支持が行われていない
2. トピックセンテンスに含まれていない内容を述べる
3. トピックセンテンス内で情報が並べられている順番を無視している
4. サポートが果たすべき機能を果たしていない
5. サポートに一貫性がない

2-3 ドリル 071

2-3 ドリル 解答と解説 073

2-4 コンクルーディングセンテンス 085

コンクルーディングセンテンスを書く時に起こりがちな問題 088

1. トピックセンテンスとコンクルーディングセンテンスが同じ文である
2. パラグラフで書かれなかった情報が含まれている

3章 パラグラフを 書いてみる

3-1 基本のパラグラフを書いてみる 092

生理学実験に関するパラグラフ 092

1. Discussionのパラグラフ (1)
2. Discussionのパラグラフ (2)

生物学実験に関するパラグラフ 099

1. Resultsのパラグラフ
2. Discussionのパラグラフ

3-2 パラグラフを推敲する 111

Resultsのパラグラフの第1草稿 112

1. トピックセンテンスに「明確性」が欠けている
2. トピックセンテンスに「抽象性」が欠けている
3. サポートに含まれるべきでない情報が含まれている
4. アカデミックライティングにふさわしくない表現がある

Resultsのパラグラフの第2草稿 116

1. トピックセンテンスに「明確性」と「抽象性」がある
2. サポートの内容・量が適切になった

Discussionのパラグラフの第1草稿 118

1. トピックセンテンスがDiscussionのパラグラフにふさわしくない
2. パラグラフが長過ぎる

Discussionのパラグラフの第2草稿 120

1. トピックセンテンスがDiscussionのパラグラフにふさわしいものとなった
2. 文の数と情報量が減り、論理の流れが明確になり、読みやすくなった

参考 パラグラフの英訳 124

4章 パラグラフライティングを IMRAD 形式に応用する

4-1 IMRAD 形式とは? 132

4-2 パラグラフライティングで書かれた IMRAD 形式の実験レポート 134

序論 (Introduction) 139

1. Introduction の第1パラグラフ
2. Introduction の第2パラグラフ

材料と方法 (Materials and Methods) 141

Materials and Methods のパラグラフ

結果 (Results) 143

1. Results の第1パラグラフ
2. Results の第2パラグラフ

考察 (Discussion) 146

1. Discussion の第1パラグラフ
2. Discussion の第2パラグラフ
3. Discussion の第3パラグラフ

4-3 パラグラフライティングと IMRAD 形式のアカデミックライティングの推敲 151

1. 各パラグラフを推敲する
2. パラグラフの「バランス」を確認する
3. 統合すべきパラグラフがないか検討する
4. 分割すべきパラグラフがないか検討する
5. 追加すべきパラグラフがないか検討する
6. 削除すべきパラグラフがないか検討する
7. パラグラフ「間」の関係を確認する

参考 実験レポートの英訳 164

5章 英語で パラグラフを書く

5-1 日本語で書いたパラグラフを英語にする 172

日本語と英語で、文の数や文の構造を同じにする 172

翻訳ツールや生成型 AI を積極的に利用する 173

アカデミックな英語を書く 173

1. 基本的な動詞は使用しない
2. 等位接続詞は文頭に置かない
3. 一人称単数代名詞・二人称代名詞は使用しない
4. 動詞の短縮形は使用しない
5. 不要な修飾語は使用しない
6. There is /are 構文・It is 構文は避ける
7. 否定文は必要な時のみ使用する
8. 簡潔な表現を使用する
9. よく使用される表現を知っておく

5-2 翻訳ツールとの付き合い方 178

翻訳ツールに日本語を入力する時に注意すること 179

1. 機密情報は入力しない
2. 入力する「量」を考える
3. アカデミックな日本語で入力する
4. 日本語の「修飾表現」に注意する
5. 複数の翻訳ツールを比較する

翻訳ツールが訳出した後に注意すること 189

1. 専門用語の訳を確認する
2. 訳語を統一する (=「訳揺れ」に注意!)
3. 訳文の情報の順番に配慮する
4. 英文の「主語」に注意する
5. 英文の「冠詞」に注意する
6. 英語の名詞の「数」に注意する

7. 「よい英文」とは何かを考える
8. 必要に応じて訳文に加筆修正を行う
9. 「バックトランスレーション」を行ってみる

5-3 生成型 AI との付き合い方

202

おわりに

206

コラム

① アメリカのアカデミックライティング教育	018
② パラグラフライティングがトピックセンテンスを重要視するのはなぜ? ...	054
③ 伸び縮みするトピックセンテンス?! の不思議	081
④ 背景知識と日本人のライティング	083
⑤ トピックセンテンスを「いつ書くべきか」問題	107
⑥ パラグラフライティングが思考を促す	109
⑦ 論証と日常の会話	128
⑧ パラグラフライティングとかけて	169
⑨ 英語の冠詞はどうして難しいのか?	195
⑩ 翻訳ツールや生成型 AI をプレゼンテーションに利用する	201
⑪ 生成型 AI の時代になぜ文章を書くのか	204